

第2期寒河江市役所地球温暖化対策実行計画（事務事業編）

2020年度（令和2年度）取組状況

本市では、平成24年4月に策定した計画を見直し、平成30年5月に第2期寒河江市役所地球温暖化対策実行計画（事務事業編）（以下「第2期計画」）を策定しました。

第2期計画では、本市の事務事業に伴って排出される温室効果ガスの総排出量を基準年度（2013年度・平成25年度）と比較して、2030年度において38.9%削減することを目標としています。

2020年度（令和2年度）の取組状況をご報告いたします。

2020年度（令和2年度）の温室効果ガスの総排出量は、7,437 t-CO₂となり、基準年度比20.14%（1,876 t-CO₂）削減、前年度比4.76%削減（372 t-CO₂）、となりました。

照明及び冷暖房の適正な使用等に努め、総排出量削減を目指しましたが、電気、庁舎等燃料の使用量については、前年度が暖冬であったこと、コロナでの冬季休校等の影響を受けて減少していたこともあり、結果的に今年度はほぼ横ばい、車両燃料については降雪量の増による除雪車の軽油使用量の増加があり、前年度比の温室効果ガスの総排出量の減少はわずかなものとなりました。

引き続き、電気使用量、庁舎等燃料使用量等の適正使用及び削減に努め、第2期計画の目標を達成できるよう取り組んでまいります。

（単位：t-CO₂）

項 目	排出量		
	2013年度 （基準年度）	2019年度	2020年度
電気の使用	6,483	5,477	5,063
庁舎等燃料の使用 （灯油、A重油、LPG、都市ガス）	2,414	1,932	1,932
車両燃料の使用 （ガソリン、軽油）	150	125	165
下水・浄化槽の処理	258	270	272
その他 （自動車走行距離等）	8	5	5
合 計	9,313	7,809	7,437

※ 温室効果ガスの総排出量の算出は、最新の排出係数（変動係数）を使用しております。

※ 目標達成に向けた取組の成果を把握できるよう、参考として基準年度の排出係数（固定係数）を用いた数値を使用し算出すると、8,651 t-CO₂となり、基準年度比7.1%（662 t-CO₂）削減となりました。